



本庄市マスコット

ほにぽん

本庄市議会だより

おもな内容

	ページ
○第4回定例会の概要、おもな案件、議員提出議案、委員会のうごき …	2～3
○市政に対する一般質問 ……………	4～9
○提出議案とその結果、表紙写真の募集 ……………	10～11
○新議員21名が決まる、3月定例会の予定等 ……………	12

写真タイトル

「いちよう並木」

撮影者：石森 雄太さん

撮影場所：本庄総合公園

今年度は表紙写真の公募を行いました。
次号も表紙写真の公募を行います。詳しくは
11 ページ及びホームページをご覧ください。

条例改正、補正予算など32議案を審議



令和7年第4回定例会（12月定例会）を、11月26日（水）から12月22日（月）までの27日間の会期で開催しました。

今定例会には、市長から条例の一部改正、令和7年度補正予算など16議案が提出され、さらに最終日には市長から条例の一部改正、令和7年度補正予算などの8議案の提出がありました。また、議員からは条例の一部改正、意見書の2議案の提出がありました。

慎重審議の結果、閉会中の継続審査となっていた令和6年度決算認定の6議案を含む32議案を原案のとおり可決、認定しました。

おもな案件

12月定例会のういき

- ◆本庄市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
本庄駅南口自転車駐車場場の利用率向上及び子育て家庭への経済的負担の軽減を図るため、本庄駅南口自転車駐車場地階の利用時間を変更するとともに、2階及び地階の定期利用の使用料に学生割引を導入するための条例の改正です。
- ◆指定管理者の指定について
次の施設の管理に関し、指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。
《第84号議案》
・本庄市観光農業センター
〔指定管理者〕
特定非営利活動法人ネットワークひがしこだいら
〔指定する期間〕
令和8年4月1日～
令和13年3月31日
《第85号議案》
・本庄市北地域の都市公園及び体育施設
〔指定管理者〕
本庄市環境緑の会
- 11月26日 本会議
▼会議録署名議員の指名
▼会期の決定、諸報告
▼継続審査案件の決算特別委員長報告・質疑・討論・採決
▼市長提出議案の上程
▼市長提出議案の提案理由の説明
▼市長提出の議案内容の説明
- 11月28日 本会議
▼請願の常任委員会付託
▼議案に対する質疑
▼議案の常任委員会付託
- 12月2日 常任委員会
▼総務常任委員会
▼厚生文教常任委員会
- 12月3日 常任委員会
▼建設産業常任委員会
- 12月5日 特別委員会
▼17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会
- 12月8日 特別委員会
▼交通政策及び観光政策特別委員会
- 12月16・17日 本会議
▼一般質問
- 12月22日 本会議
▼諸報告
▼請願の常任委員長報告／採決
▼各特別委員長報告／採決
▼各常任委員長報告／採決
▼市長提出追加議案の上程／採決
▼議員提出議案の上程／採決
▼埼玉県都市ボートレース企業団議会議員選挙
▼閉会中の継続審査

〔指定する期間〕
令和8年4月1日～
令和13年3月31日
《第86号議案》
・本庄市中央地域の都市公園及び体育施設
〔指定管理者〕
清香園・東京ドームスポーツ共同体

〔指定する期間〕
令和8年4月1日～
令和13年3月31日
《第87号議案》
・本庄市南地域の都市公園及び体育施設
〔指定管理者〕
清香園・東京ドームスポーツ共同体

〔指定する期間〕
令和8年4月1日～
令和13年3月31日
《第88号議案》
・本庄市東部の都市公園及び体育施設
〔指定管理者〕
清香園・東京ドームスポーツ共同体



マリーゴールドの丘公園

◆令和7年度本庄市一般会計補正予算（第6号）
児玉文化会館セルディ駐車場の駐車台数の増設に伴う

請願の審査結果

12月定例会では、請願1件を慎重審査しました。審査結果は次のとおりです。
〔採択〕
▽「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書
〔提出者〕
平和と暮らしを守る児玉郡市共同センター
本庄民主商工会
会長 野沢 孝義 氏
他3者

議員提出議案

12月定例会では、議員から2議案が提出され、原案のとおり可決しました。

◆適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書（要約）
2023年10月に導入され

たインボイス制度の導入から2年が経過し、小規模事業者などからは、減収や税負担の増加によって経営状況が悪化したとの声や、インボイスに係る経理事務が過大な負担になっているとの声も上がり、事業活動への影響は看過できない。

また、エネルギー価格や原材料費等の高騰が長期化し、人材不足が深刻化する中で、経営環境は一層の厳しさを増しており、インボイス制度に係る負担を小規模事業者等に求めることができない。

インボイス導入後の小規模事業者等の苦境や昨今の経営をとりまく環境に鑑みれば、国の支援措置の拡充だけではもはや不十分であり、小規模事業者等の経営の持続化や県内の経済の活性化の重要性を考えると、インボイス制度そのものを廃止することが最良の策である。

よって、国においては、事業者に過度な負担を与えるインボイス制度を早急に廃止することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和7年12月22日
本庄市議会

◆本庄市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例

本庄市議会議員の団体等の代表の就任に関する遵守事項を追加するための条例の改正です。

議案のういき

12月定例会における各委員会の審査内容について主なものを紹介します。

◆総務常任委員会

○第89号議案
令和7年度本庄市一般会計補正予算（第6号）

クラウドファンディング活用型事業補助金の参加資格などについて質疑しました。付託議案2件について、すべて可決すべきものと決しました。また、付託請願1件について、採択すべきものと決しました。

◆建設産業常任委員会

○第83号議案

本庄市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
利用者への学生割引導入の周知方法などについて質疑しました。付託議案9件について、すべて可決すべきものと

して決しました。



本庄駅南口駐輪場

◆厚生文教常任委員会

○第91号議案

令和7年度本庄市介護保険特別会計補正予算（第2号）
介護保険システムの改修の内容などについて質疑しました。付託議案7件について、すべて可決すべきものと決しました。

◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会

国道17号バイパス本庄道路の早期整備を図るため、大宮国道事務所長へ表敬訪問を行いました。また、新大宮上尾道路宮前インターチェンジの現地視察を行いました。

◆交通政策及び観光政策特別委員会

籠原駅以北までの15両編成列車の延伸、八高線にサイクルレーンやSL等の臨時列車を運行することなど、JＲ東日本本社へ要望活動を行いました。



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、14名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容は、会議録（２月下旬発行予定）を議会事務局、
児玉総合支所、本庄ガス ECO はにぽんプラザ、図書館、公
民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



持続可能な
まちづくりについて
市議団大地代表 高橋 和美

問 持続可能なまちの必須条件は社会的包摂・経済成長・環境保護です。特に環境保護については、地球に生存するあらゆる動植物の生態系に影響を及ぼすだけに喫緊の課題です。本市は二酸化炭素排出量ゼロをめざしてゼロカーボンシティ宣言をしています。環境保護は社会全体の問題であり、多くの市民の意識や行動を促すきっかけとして環境フェアの開催ができないかお尋ねします。

答 環境フェアについては、環境への配慮や意識を高め、持続可能なまちづくりを推進する上で意義があるものと認識しています。幅広い世代に、様々な環境問題を自分事として捉えていただく契機として一定の効果が期待されます。また地域の環境活動団体や企業にも協力をいただくことで連携を深め、環境に配慮した都市イメージを広く発信するなど、相乗効果

問 持続可能なまちの必須条件は社会的包摂・経済成長・環境保護です。特に環境保護については、地球に生存するあらゆる動植物の生態系に影響を及ぼすだけに喫緊の課題です。本市は二酸化炭素排出量ゼロをめざしてゼロカーボンシティ宣言をしています。環境保護は社会全体の課題であり、多くの市民の意識や行動を促すきっかけとして環境フェアの開催ができないかお尋ねします。

答 環境フェアについては、環境への配慮や意

(環境推進課)

も期待できると考えています。本市では、市民の皆様や事業所等への啓発活動として、各部署が主催するイベントや、市民ホールなどでテーマを絞ったブースの設置、パネル展示などを続けてきました。目的は、市民の皆様に環境への理解と取組への参加を進めていただくための事業です。今後も継続して市民の皆様にもご参加いただけるよう取り組んでいきます。

環境フェアの開催についてはこれまでの取組を生かしつつ、環境に特化したイベントの開催や他のイベントとの共催も含めて検討し、市民並びに事業者や関係団体の皆様方が主体的に環境問題に関わりを持つていただけるよう、様々な可能性を探っていきます。

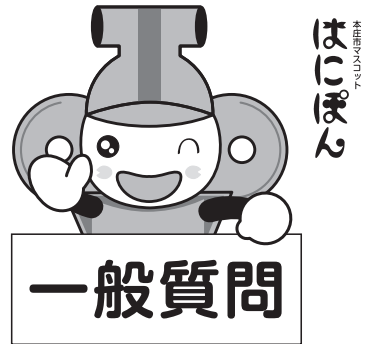
問 農業を取り巻く環境は、高齢化や農業者の減少によって非常に厳しい状況にあるということも事実と思います。地域の特性に応じた多様な土地利用が調和できるまちづくりを目指し、今後各市と農業委員会が協力し地域に必要な土地の活用方法について、様々な角度から調査研究してまいりますと言っています。農業振興地域内農用地での遊休農地の今後の方向性について伺います。

答 本市の農地約2271haの内、農業の振興を図るための農用地区域は約1758haです。この農用地区域内に遊休農地と判定されているものが約74haあります。遊休農地の有効活用については、まずは農地として利用していただき、整備保全していくことが、食料自給率の低い我が国では求められています。特に農用地区域に含まれる遊休農地は、農業振興施策

問 農業を取り巻く環境は、高齢化や農業者の減少によって非常に厳しい状況にあるということも事実と思います。地域の特性にに応じた多様な土地利用が調和できるまちづくりを目指し、今後市と農業委員会が協力し地域に必要な土地の活用方法について、様々な角度から調査研究してまいりますと言っています。農業振興地域内農用地での遊休農地の今後の方向性についてお伺いします。

答 本市の農地約2271haの内、農業の振興

市街地隣接の遊休農地



ここがポイント！
そこが聞きたい！！

問 市街地と地域を結ぶ幹線道路として期待している市道第140号線は途中で頓挫し完成していません。今後何年間で建設されるのか、具体策をお示しください。また、居住環境の整備を進める中で狭あい道路の解消及び通学路の安全対策の取組について伺います。次に快適な通行確保、景観の面、商店街の価値観等が上がると考えられますが、電線類地中化の本市の現状及び取組について伺います。

答 市道第140号線は計画延長の65%が完了していますが、国道17号本庄道路と交差する計画であることから整備方針を検討しています。また、この路線に関しては、仁手自治会からの要望により市道第3151号線の用地を生かした整備を進めていきます。

狭あい道路の解消については、土地の買収等をして路線単位の拡幅整備を推進してお

問 市街地と地域を結ぶ幹線道路として期待している市道第140号線は途中で頓挫し完成していません。今後何年間で建設されるのか、具体策をお示しください。また、居住環境の整備を進める中で狭あい道路の解消及び通学路の安全対策の取組について伺います。次に快適な通行確保、景観の面、商店街の価値観等が上がると考えられますが電線類地中化の本市の現状及び取組について伺います。

答 市道第140号線は計画延長の65%が完了



市道第140号線

り、自治会からの要望や地権者の同意、また、費用や道路ネットワーク等を勘案し総合的に判断しています。また、児童生徒が安全に通学できるよう外側線やグリーンベルト等の設置を進めています。

電線類地中化は、令和3年度より児玉駅前通線の整備を進めており、拡張部分の用地取得率は73%です。また、本庄駅南口前通り線を「整備の検討」に着手する路線」として位置付けています。その他、国や県により、本庄早稲田駅周辺土地地区画整理事業の約4.0km（二部市道）、国道17号、国道462号や中山道などで事業が進められています。

（道路管理課・道路整備課）

【その他の質問】

・空き家・空き地対策について

【その他の質問】
・空き家・空き地対策について

**本庄市の
ふるさと納税制度について**

市議団きせき代表 **巴 高志**

問 総務省において2008年からふるさと納税制度が導入されました。現在でも自治体間の過熱する返礼合戦が続いています。新聞紙上で2023年度、一都三県の調査で実質収支が165自治体で赤字でした。このような中で本市のふるさと納税制度はどのようになっていますか。お聞かせ下さい。

答 ふるさと納税は、本市でも制度創設時から取組を始め、平成27年12月からは、インターネットで寄付受付を開始し、寄付をいただいた皆さまへの返礼品の贈呈を開始しました。寄付件数、寄附額のさらなる増加を図るため、インターネットでの寄付受付窓口の拡大や市内事業者の皆さまのご協力をいただき、新たな返礼品の開拓等に取り組んでいます。こうした取組により、本市のふるさと納税は、寄附件数、寄附額ともに年々増加し、令和6年度

問 総務省において2008年からふるさと納税制度が導入されました。現在でも自治体間の過熱する返礼合戦が続いています。新聞紙上で2023年度、一都三県の調査で実質収支が165自治体で赤字でした。このような中で本市のふるさと納税制度はどのようになっていますか。お聞かせ下さい。

答 ふるさと納税は、本市でも制度創設時から

は、寄附件数12,585件、寄附額約1億6,400万円のご寄附をいただきました。

本市のふるさと納税の収支状況ですが、令和6年度までの実質の収支は、継続して黒字であり、令和6年度の黒字額は約2,637万円でした。

ふるさと納税は、地域の特産品を返礼品として取り扱うことで、本市の魅力を全国に宣伝するシティブロモーションの一つであると捉えています。

引き続き、国が示すふるさと納税の適正化のための基準を順守し、寄附額の増加に向けた取組を推進します。

（広報課）

【その他の質問】

- ・本庄市の上下水道事業について
- ・学校図書室及び図書館の運営について

- ・【その他の質問】
- ・本庄市の上下水道事業について
- ・学校図書室及び図書館の運営について



ふるさと納税

安全な街・本庄を目指して
公明党代表 栗田 弘志

問 市民の方々が安全に過ごせる街にするためにも、交通事故を減らす取組をしていかなければと考えます。人身事故発生件数は減ってきていますが、物損事故件数は増えてきています。そこに、たまたま人がいなかっただけでも言えます。事故の要因を取り除くことが大事であると考えます。市内において通学路や幹線道路の保守メンテはどのように行っていますか、伺います。

答 本市で発生した交通事故の発生件数、死亡者・負傷者数は、令和元年から令和6年では半数以下にまで減少しています。

一方、物損事故では、令和2年の発生件数は1731件でしたが、令和6年には2022件と増加しています。本市では、通学路や幹線道路に限らず全ての市道について、交通事故の未然防止を目的に、道路の異常箇所を確認

するため定期的に道路パトロールを実施し、異常箇所が確認され次第、可能な限り早急に修繕を実施しています。

小中学校の通学路については、教職員と保護者の方々が協力し、5年ごとに通学路の安全総点検を実施し、その状況を報告頂き、通学路安全検討委員会にて改めて調査等を実施し、安全対策を取りまとめ、市の通学路整備計画に位置付け、危険箇所の安全対策を計画的に実施しています。

今後も、通学路の危険箇所や幹線道路を重点的に点検・修繕を行い、市民の皆さまが安全に利用できるよう道路整備を推進していきます。

(危機管理課・道路整備課)

【その他の質問】
・誰でも通園制度について
・安心な街・本庄を目指して



飛び出し坊や、本庄版「とびだし実忠」

聴覚障がい者への

支援について

清水 静子(公明党)

問 100年の歴史を刻むデフリンピック東京大会出場の本庄市広報観光大使森本選手のバブリックビューイングでは「サインエール」で大変盛り上がりがあった。また「本庄市手話言語条例」制定から8年になる。電話リレーサービスを介し行政窓口にアクセスできる「手話リンク」を本庄市で導入してはどうか。誰一人取り残さない公共インフラとして導入を要望するがどうか伺う。

答 「電話リレーサービス」とは、聴覚や発語に困難のある人と聞こえる人との会話を通訳オペレータが手話又は文字と音声で通訳することにより電話でやりとりができるサービスです。事前登録が必要となりますが、24時間365日利用することができ、火事や救急等の緊急通報にも対応しています。

「手話リンク」は、例えば行政や事業者のホームページ

に専用の問い合わせボタンを貼り付け、手話を使用する人がそこをクリックすると、電話リレーサービスの手話通訳オペレータに繋がります。その内容を声で行政や事業者へ伝えられるというサービスで、導入に向け検討していきます。

【その他の質問】
・本庄市の未来について



問 地域にあった子ども達のための「部活動地域展開」。今年度取り組んでいる実証事業から見てくる本市の課題を踏まえて、先行事例を参考に、児玉郡全体で・競技種目毎に・専門部署あるいは専門スタッフを配置し、明るい未来が見通せる「地域展開」に向けた具体案作成は急務である。具体案をもって「協議会」で検討し、郡市全体で子どもたちを育むかたちを構築していただきたい。

答 部活動の地域展開については、今年度の実証事業の取組の成果と課題を検証し子供たちの意見を取り入れ、令和10年度を目途に本庄版の部活動地域展開の方針をまとめたいて考えています。地域展開を本庄市・児玉郡全体で検討を進めることは、本市の地理的条件や郡市内の学校数等を考えると、重要であると捉えていますので、今後、情報共有を図り必要に

部活動、
チームこだまで地域展開
倉林 益代(市議団きせき)

デマンド交通の
赤字補填について
矢野間 規(市議団きせき)

問 MONETアプリやLINE予約、コールセンターの導入により、利便性が向上し、運賃収入も一定の改善が見られるが、公共交通の性格上、赤字体質は大きく変わらない。そこで、市の負担軽減に繋げるため、デマンドバスを活用した広告事業として、市内企業のラッピング広告や車内ポスター等の広告媒体として活用することで、企業、本市にとってメリットになると考えるが見解を伺う。

答 デマンドバス「はにぼん号」の利用件数は、令和7年3月からの8か月間で、リニューアル前と比べ約13%増加している状況ですが、運賃収入で運行経費を賄うことは大変難しい状況です。この状況は、持続可能な運行を図るためにも課題として認識しており、令和4年度に策定した本庄市地域公共交通計画においても収支率を低下させないよう目標を設定し取り組

んでいます。

議員ご提案のはにぼん号の車両を活用したラッピング広告や車内広告を導入することについては、収益率を改善させるために有効な手段であると存じています。はにぼん号は、市内全域を日常的に走行し、多くの市民の目に触れるので、はにぼん号を活用した広告は、企業のPRとしても大変有効です。広告の導入については、他の自治体でもデマンドバスなどへ導入している事例もありますので、先進事例を参考にしながら、本庄市交通政策協議会及び交通事業者等の関係者と導入に向けた協議を行っていきます。

(都市計画課)

【その他の質問】
・日本一駄菓子屋があるまちを目指すことについて



安全な室内遊び場を含む
子育て支援複合施設について
堀口 伊代子(市議団未来)

問 令和8年4月深谷では0歳から18歳の子ども達が安心して遊び・学ぶ事ができる複合施設を開設、伊勢崎市では令和7年4月、藤岡市でも令和7年10月に屋内遊び場と1時間300円で一時預かりが出来る託児所機能を有した複合施設を開設した。ワンオペ育児でお母さんが一人でも2人3人とも子どもを連れて安全な室内で思いっきり遊ばせる事ができる複合施設が必要ではないか伺う。

答 こうした複合施設の必要性については、本庄市子ども計画を中心に現在取り組んでいる具体的なことも施策の進捗状況や本庄市公共施設等総合管理計画（ハコモノ編）の方針との整合性を踏まえる必要があり、現時点においては、具体的な計画を進める考えはございませんが、他の自治体での取組事例やその実施に伴う課題を冷静に分析することは、本市に適する

施策を検討する上で非常に参考になると認識しています。本市では、児童センターを3か所、子育て支援センターを7か所に分散して地域間のバランスに配慮し、公平にサービスを提供しています。財政状況や地域性、本市が現在行っていることも支援施策や諸計画との整合性を鑑みると、複合施設の建設については課題が多く、現状での導入は難しいと判断していますが、関係施設の老朽化対策や将来的な財政負担軽減の観点から新たに複合化の機会が見込まれる場合には、積極的に検討を進めていきます。

(子育て支援課)

【その他の質問】
・保育の完全無償化について
・車いす用簡易スロープの助成について



藤岡市ふじまる内の室内プレイルーム

給付型奨学金・
通学費貸与補助で
若者の支援と転出抑制を

内田 英亮（市議団大地）

問 五回目となる給付型奨学金の提案。大学等に通う半数以上が奨学金を利用している。世帯年収が四百万円以下の学生よりも五百万円以上の学生が多いことから、教育の機会が均等ではない現状が読み取れる。上級学校へ進学時に市外へ転出した若者はなかなか故郷へ戻ってこない。学生の応援はもちろん、郷土愛ある本庄で生まれ育った若者の転出抑制、定住促進の観点からも導入すべき。

答 本市では、高校・大学等に進学する方の保護者に貸付を行う「本庄市入学準備金貸付制度」と高校・大学等に進学する本人に貸付を行う「本庄市育英資金貸付制度」の2種類の貸付制度を運用しています。いずれも無利子で、貸付が終了した月の翌月から起算して6ヶ月経過後から返済開始となります。返済により、一定の財源確保ができ、安定した制度運営

につながっており、要件に該当する方は、予算の範囲内で人数の制限なく貸付を行うことができます。

給付型奨学金については、奨学金制度は長期的に維持していくことが必要と考えるところから、公平性を踏まえた、安定した財源の確保が課題となります。応募者が募集人員を上回った場合には、経済的理由により応募しても受給できない場合もあり、公平性の観点からも課題があります。給付型奨学金の創設について現状では難しいものと考えますが、市としてどのようなアプローチができるか引き続き調査・研究していきます。（学校教育課・広報課）

【その他の質問】
・旧本庄警察署の耐震補強・修理を早期に実施し公開を

東部の収入階層別分業学生数の割合【45～54歳の世帯主】（大学学部・専攻別）

区分	第1次学	第2次学	第3次学	第4次学	第5次学
文系	14.5%	15.2%	15.8%	16.5%	17.2%
理系	13.8%	14.5%	15.2%	15.8%	16.5%
医系	12.5%	13.2%	13.8%	14.5%	15.2%
農工	11.2%	11.8%	12.5%	13.2%	13.8%
法系	10.5%	11.2%	11.8%	12.5%	13.2%
その他	9.8%	10.5%	11.2%	11.8%	12.5%

第ⅠとⅣ・Ⅴ区分で同程度の比率で利用

要支援者名簿・
高齢者記載名簿について

富田 雅寿（市議団大地）

問 要支援者名簿の作成方法に疑問を感じています。高齢者や障がい者が自己申請しないとこの要支援者名簿に掲載されていないこと。これが異常と思えます。また、地震や水害、火災時にこの要支援者名簿をどう活用するのか明確に示されていないからです。この要支援者名簿を預かる、民生委員、消防団員、自治会役員がどう動くのかの指針が必要と思えますがいかがでしょうか。

答 避難行動要支援者名簿は、平成25年の災害対策基本法改正により市町村に作成が義務化され、その活用は地域連携による避難支援を促進するためのものです。基となる要件は、本庄市地域防災計画で定められ、該当者は約1万名、その内、自力での避難が困難な方が要支援者であり、令和7年4月1日時点で2204名です。市では新たに該当する方へ申請書



要支援者避難支援制度イメージ

を送付し、本人からの申請に基づき登録しています。また、年に一度、転出等の状況の精査や、必要な方へ支援が届くよう制度の周知を図る他、自治会役員や民生委員に、制度を必要とする方への案内のご協力をお願いしています。災害時の行動指針は、円滑な避難を行う上で重要な視点と認識しています。本市は、中山間地域から利根川流域など地域により想定される災害も様々であり、市民と地域の特性を共有し、より実効性を高め、よりよい制度運用となるよう考えていきます。（地域福祉課）

【その他の質問】
・市広報・回覧等の自治会依頼、配布物について
・保健センターの年末年始対応について

新たな拠点、
防災庁誘致に向けて

山田 康博（市議団きせき）

問 国の機関である防災庁誘致に向け新たな一歩を踏み出した本庄市。自然災害が少なく、交通の要衝である本市のポテンシャルからして有力な候補地であると考え。2026年11月発足と報道があり、候補地選定にあたっては、スピード感と情報収集、地道なロビー活動が重要であり、さらには防災意識の向上、官民の連携スクラムが不可欠である。その波及効果と戦略について見解を問う。

答 防災庁誘致が成功した場合、防災庁の立地場所として、その周辺を含めたインフラ整備の加速なども想定され、さらには人口定住の受皿や人口流出に対する歯止めとして優位に働くなど、地域にとって数多くのメリットや波及効果があると考えています。

選ばれるための戦略ですが、本市単独ではなく児玉郡市1市3町で調整を経たうえ

生活保護制度の現状や、
今後の課題について

柿沼 綾子（無会派）

問 自力で生活できない人の命を守るための公的な保障が生活保護制度である。本市の実態や実際に保護に至るまでの所持金の確認や、親きょうだいへの支援の照会なども含めて詳しく伺う。

エアコンが27年度から新省エネ基準となり、高額になった場合の補助額引き上げなどはどうするのか。また、生活保護費基準引き下げは違法と最高裁判決が下ったが下げ額の補償の対応はどうなるのか。

答 令和7年9月末現在の本市における生活保護受給者数は820人であり、令和4年度以降は横ばいで推移しています。本市では福祉総合相談窓口を設置し、専門の支援員が相談に応じています。本市では、生活保護申請者の状況を十分に聴き取り、申請者からの申告を基本として、必要に応じて扶養義務者宅への訪問や書面にて扶養の可能性の調査を行っています。

小・中学校の
学校給食費について

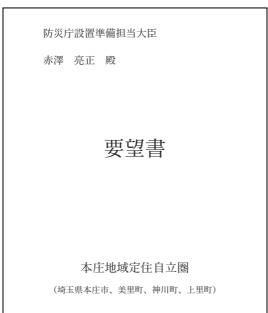
門倉 道雄（市議団未来）

問 現在本市は給食費保護者負担金に施策があるのか伺う。昨年2月自民・公明・日本維新の会による「三党合意」がなされ「②いわゆる給食費無償化」が掲げられ「まずは小学校を念頭に令和8年度に実現する」とある。高市総理が、三党による実務者協議を続けており今年4月から公立小学校給食費無償化に向けて責任をもって適切に対応すると答弁した。国から動き情報があるのか伺う。

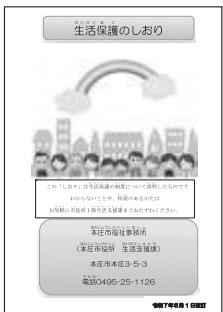
答 本市では、給食費について物価高騰分を含めた食料費の補助を行っており、援助についても生活が困窮している家庭の児童生徒には、生活保護や就学援助の制度を活用し、全額市の負担で給食費の援助を行っています。さらに、今年度より、第2子以降の児童生徒がいる保護者に対し、給食費の補助を公立小中学校等に就学する子

のうち、最年長の子から数えて2人目以降に当たる子として、補助金額は保護者が納付した給食費となります。なお、世帯全員の給食費、市税に未納がないことが補助条件です。このように、給食の質の維持に努めるとともに、生活困窮世帯や多子世帯への経済的支援策を行い、学校給食の運営に係る食料費の約54%を公費負担しています。国からの情報及び動きについては、現在に至るまで具体的な情報はなく、いわゆる給食費無償化の制度設計が示されていません。引き続き国や県の動向を注視していきます。

【その他の質問】
・本市の中学校部活動地域展開の状況と今後について



提出された要望書



生活保護のしおり

令和7年第4回定例会 提出議案とその結果(つづき)

(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

	議案番号	件名	議席番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
			議決結果	栗田弘志	倉林益代	小賀野健司	内田英亮	矢野間規	山口豊	山田康博	清水静子	門倉道雄	巴高志	堀口伊代子	富田雅寿	榎田平一郎	柿沼綾子	柿沼光男	広瀬伸一	小林 猛	高橋和美	林 富司	早野 清
市長提出議案	第98号追加議案	令和7年度本庄市一般会計補正予算（第7号） ・給与費の追加及び物価高対応子育て応援手当の支給等をするための追加など、歳入歳出それぞれ4億1279万6000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ362億7296万5000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第99号追加議案	令和7年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ・給与費の追加のため、歳入歳出それぞれ513万1000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ80億7091万7000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は可否同数の場合のみ裁決します。	○	○	○	○	○	○	○
	第100号追加議案	令和7年度本庄市介護保険特別会計補正予算（第3号） ・給与費の追加のため、歳入歳出それぞれ595万2000円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ69億7537万2000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第101号追加議案	令和7年度本庄市水道事業会計補正予算（第4号） ・給与費に係る追加のため収益的支出、資本的支出の補正などとするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第102号追加議案	令和7年度本庄市下水道事業会計補正予算（第4号） ・給与費に係る追加のため収益的支出、資本的支出の補正などとするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	議第4号議案	本庄市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例【P3】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	議第5号議案	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書【P3】	原案可決	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○

◆第三区議長会議員研修会を開催しました
令和7年10月8日に、株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師として迎え、「一般質問の作り方とネットリテラシー」をテーマに、第三区議長会に所属する本庄市、熊谷市、秩父市、深谷市の合同で第三区議長会議員研修会を開催しました。



研修会の様子

◆本庄市議会議員研修会を開催しました
令和7年11月25日に、中央大学法学部、中央大学大学院法学研究科教授の儀崎初仁氏を講師として迎え、「自治体議員の役割と政治倫理―基本から考える―」をテーマに、本庄市議会議員研修会を開催しました。

次号の「本庄市議会だより」表紙写真を募集します！

「本庄市議会だより」の表紙を あなたの撮影した写真 で飾ってみませんか。



《写真のテーマ》ここにいたい。本庄

本庄市のブランドメッセージ「どこにでも行けるけど、ここにいたい。本庄」市民の皆様にとって「ここにいたい。」と思う本庄の写真を募集します！

《応募期間（必着）》5月15日発行号…令和8年2月15日～3月19日



どこにでも行けるけど、ここにいたい。本庄

応募規定

次に該当するもので、どなたでも応募いただけます。（1号につき2枚まで）

- ①応募者本人が本庄市内を撮影した写真 ②概ね1年以内に撮影した未発表のもの
③人物が特定できる場合、被写体の承諾を受けたもの ④合成写真、組み写真、画像加工処理したものは不可
⑤デジタルデータ（JPEG形式、2240×1680ピクセル以上）又は現像した写真（2Lサイズ以上）で提供できるもの

応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、議会事務局へメール（gikai@city.honjo.lg.jp）、郵送又は持参（土・日・休日を除く）にてご応募ください。

表紙写真公募要領に記載の事項をご確認いただいた上で応募してください。

※応募用紙、表紙写真公募要領は、ホームページ又は議会事務局にて配布しています。

<https://www.city.honjo.lg.jp/soshiki/shigikai/gikai/shigikaidayori/12083.html>



表紙写真HP

令和7年第4回定例会 提出議案とその結果

(賛成：○ 反対：× 棄権：棄 欠席：欠)

	議案番号	件名	議席番号	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
			議決結果	栗田弘志	倉林益代	小賀野健司	内田英亮	矢野間規	山口豊	山田康博	清水静子	門倉道雄	巴高志	堀口伊代子	富田雅寿	榎田平一郎	柿沼綾子	柿沼光男	広瀬伸一	小林 猛	高橋和美	林 富司	早野 清
市長提出議案	第73号追加議案	令和6年度本庄市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	欠	○	○	○
	第74号追加議案	令和6年度本庄市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	欠	○	○	○
	第75号追加議案	令和6年度本庄市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	欠	○	○	○
	第76号追加議案	令和6年度本庄市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	欠	○	○	○
	第77号追加議案	令和6年度本庄市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		×	○	○	欠	○	○	○
	第78号追加議案	令和6年度本庄市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	欠	○	○	○
	第79号議案	本庄市職員定数条例の一部を改正する条例 ・市民サービスの向上に向け適正な体制を確保するため、市長及び教育委員会の事務部局の職員定数の見直し等をするための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第80号議案	本庄市健康づくり推進協議会条例の一部を改正する条例 ・本庄市健康づくり推進協議会及び本庄市健康づくり推進総合計画審議会を統合するための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第81号議案	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正等に伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第82号議案	本庄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う所要の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第83号議案	本庄市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例【P2】	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第84号議案	指定管理者の指定について【P2】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第85号議案	指定管理者の指定について【P2・3】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第86号議案	指定管理者の指定について【P3】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第87号議案	指定管理者の指定について【P3】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第88号議案	市道路線の廃止について ・一級河川女堀川の河川改修に伴い廃止するもの1件について市道路線を廃止するもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第89号議案	令和7年度本庄市一般会計補正予算（第6号）【P3】	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第90号議案	令和7年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ・事業分担金に不足が見込まれるための追加など、歳入歳出それぞれ6191万円を追加し、総額を80億6578万6000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第91号議案	令和7年度本庄市介護保険特別会計補正予算（第2号） ・令和7年度税制改正による第9期介護保険事業期間中の保険料収入への対応のため必要となる介護保険システムの改修のための追加など、歳入歳出それぞれ6832万5000円を追加し、総額を69億6942万円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第92号議案	令和7年度本庄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） ・保険料収入の増加見込みに伴い、広域連合納付金を追加するなど、歳入歳出それぞれ1億6137万円を追加し、総額を13億7709万9000円とするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第93号議案	令和7年度本庄市水道事業会計補正予算（第3号） ・第二浄水場管理棟の建設工事に向けた設計、測量及び地質調査業務委託などを年度内に着手するための資本的支出の補正などとするもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第94号議案	令和7年度本庄市下水道事業会計補正予算（第3号） ・債務負担行為の補正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第95号追加議案	本庄市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、一般職職員の給料、通勤手当、期末手当及び勤勉手当を改定するための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第96号追加議案	本庄市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 ・市議会の議員の期末手当について、一般職職員の期末手当及び勤勉手当と同様に年間0.05月分の引上げを行うための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	第97号追加議案	本庄市の市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 ・市長、副市長及び教育長の期末手当について、一般職職員の期末手当及び勤勉手当と同様に年間0.05月分の引上げを行うための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

3月定例会の予定

2月25日(水)10:00～	本会議(議案説明)
2月27日(金)10:00～	本会議(議案質疑)
3月3日(火)9:30～	総務常任委員会・厚生文教常任委員会
3月4日(水)9:30～	総務常任委員会・厚生文教常任委員会
3月5日(木)9:30～	建設産業常任委員会
3月6日(金)9:30～	建設産業常任委員会
3月18日(水)9:30～	本会議(一般質問)
3月19日(木)9:30～	本会議(一般質問)
3月23日(月)9:30～	本会議(一般質問)
3月25日(水)10:00～	本会議(議案採決)

※会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

インフォメーション

▶本会議のライブ中継・録画配信◀

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年分をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html

※スマートフォンでもご覧いただけます。



▶傍聴のお知らせ◀

【本会議を傍聴される方】

本会議は、上記のとおり一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。

※ヒアリング(磁気)ループもございますので、お声がけください。

【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。

新議員21名が決まる

2月4日で任期満了となる本庄市議会議員の一般選挙が1月25日に行われ、新議員21名が決まりました。

任期は令和8年2月5日から4年間です。

※立候補届出順

※年齢1月25日現在

氏名(年齢)

小賀野 健司 (73)
門倉 道雄 (65)
倉林 益代 (65)
加藤 栄二 (60)
朝比奈知恵子 (49)
柿沼 綾子 (73)
富田 雅寿 (64)
内田 英亮 (37)
凶師 雄太 (29)
山田 康博 (58)
原 由徳 (45)
原 史子 (64)
山田 高史 (54)
堀口伊代子 (59)
田中 輝好 (59)
矢野間 規 (48)
出牛 順一 (41)
早野 清 (76)
広瀬 伸一 (54)
山口 豊 (56)
栗田 弘志 (64)

編集

後記



今号を執筆している今は寒さもこれから厳しさを増す12月下旬。皆さんがお手にするのは、寒さの中にも春の兆しを感じられる頃でしょうか。暮らし向きにも春の訪れが感じられているでしょうか。年の瀬の今は、インフルの流行、物価の高騰、政治は迷走。明るい気持ちで新年を迎えられるか。働いて働いて働いて、でも我が暮らし…そんなことが続いていますように。とは言え、もうすぐ春の訪れ。新年度の始まり。我々市議会議員も2月から新たな任期で始動。皆様が明るく希望をもって暮らせるよう尽瘁してまいります。

広報広聴委員会

議会報編集部会

部長 内田 英亮
副部長 倉林 益代
部会長 栗田 弘志
部員 小賀野 健司
「」 門倉 道雄
「」 矢野間 規
「」 小倉 猛
この市議会だよりは、2月4日までの部会員で編集しました。